

後期学校評価について

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、後期の学校評価を昨年末に実施いたしました。今回も皆様のご協力により、たいへん信頼性の高い資料を作成することができました。お忙しい中、本当にありがとうございました。この評価結果について、1月に学校評議員の皆様へ審議していただきました。学校評価の結果及び学校評議員会が出された意見・要望、それらを踏まえての来年度の取り組みについてお知らせいたします。

*学校自己評価について

前期と同様「学力の向上」「社会性の育成」「健康増進・体力向上」「家庭、地域との連携」「保育園や中学校との連携」の5点を中心に、前期の評価結果を踏まえて取り組んできたことについて、各教員が点検し自己評価しました。その結果、どの項目も前期以上に良好な結果が得られました。

授業においては、これまで大切にしてきた「話し合い活動」をさらに充実させ、授業における有効な「話し合い活動」のあり方について全クラスで実践を重ねるとともに、授業を通してわかったことを適切に書き表すことができるよう、「書く」ことにも力を入れてきました。今後も、自分のことばでまとめを書ける授業実践、テーマや条件に合わせて書く「井上っ子作文」等を通して子どもたちの「書く」力を伸ばしていくよう努力してまいります。また、子どもたちが「わかる・楽しい」授業展開をめざして、考えなくなる課題の提示や教材・教具、板書の工夫等、さらに研鑽に努めます。

本年度も道徳教育の充実に向けて、全校で組織的に取り組んできました。「考える」道徳に力点をおき、自他を大切にすること、自然や生命を大切にすること、みんなのために働くこと等について子どもたちに考えさせてきたことが豊かな心の育成につながりました。今後も、学校生活のさまざまな場面を通して社会性を育み、思いやりの心を育てる教育実践に努力していきます。

また、これまで以上に地域のことについて、皆様から学ぶ機会を増やすよう心がけてきました。今後も津幡町・井上で育つこの子どもたちが「ふるさと津幡町・井上」のよさやすばらしさを実感できる学習や活動をさらに取り入れていきます。ご協力をお願いいたします。

*子どもアンケートについて

子どもアンケートにつきましては、前期と同様に17項目について実施しました。以下のような結果が得られました。

(A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない)
(%) *1%で約3人です

質問	学校でのことについて	A	B	C	D
1	学校に行くのが楽しいです。	64	30	6	0
2	学校には仲の良い友達があります。	89	9	2	0
3	自分から元気に挨拶します。	51	40	8	1
4	勉強の内容がわかります。	53	41	4	2
5	授業中、集中して取り組んでいます。	57	38	4	1
6	授業中、進んで発表しています。	47	40	11	2
7	授業中、話をしっかり聞いています。	61	34	5	0
8	学習のまとめやふりかえりを書いています。	72	25	3	0

全体のA+Bの割合を見ると、17項目中14項目が90%以上で、よい状態が維持されています。しかし、C・D評価をしている子どもたちもいます。子どもたち個々の困り感にも目を向け、改善を図り、楽しい学校生活を送れるよう支援してまいります。

9	話し合いの時、自分からいろんな友だちと話します。	61	30	8	1
10	話し合いの時、友だちに考えを伝えています。	62	31	6	1
11	たくさん本を読んでいます。	63	23	10	4
12	委員会活動等には進んで取り組んでいます。	71	25	3	1
13	なかよし班の活動は楽しいです。	87	11	3	0
14	夜は、1年～3年は9時までに寝ます。 4年～6年は10時までに寝ます。	47	29	16	8
15	毎日、家で勉強(宿題を含む)をします。	70	25	5	1
16	好き嫌いをせずに食べています。	54	35	8	3
17	家では、お手伝いをしています。	59	25	14	2

力を入れて指導してきましたが伸びが見られない項目に「あいさつ」があります。保護者の方からも子どもたちのあいさつの様子を心配するご意見をいただきました。社会生活を送る上で何よりも大切な「あいさつ」です。井上の子どもたちがいつでも、どこでも、元気なあいさつができるように、これから

も様々な取り組みを計画し、働きかけて参ります。ぜひとも、家庭や地域でのご支援・ご協力をお願いいたします。

*保護者アンケートについて

保護者アンケートは、子どもアンケートとの関連をはかりながら前期同様16項目について実施しました。以下のような集計結果になりました。

(A : と思う B : どちらかというと思う C : どちらかというと思わない D : そう思わない E : 分からない) (%)

	質問事項	A	B	C	D	E
1	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	52.7	38.8	5.7	1.8	1.0
2	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	33.8	55.2	5.3	1.1	4.6
3	子どもは、よく本を読んでいる。	29.9	29.2	31.3	8.5	1.1
4	子どもは、体力が向上している。	49.8	40.9	6.4	0.7	2.2
5	学校は、取り組み等を分かりやすく伝えている。	31.0	59.1	3.9	2.1	3.9
6	学校は、ルールを守る態度の育成に努力している。	40.9	53.7	2.1	0.4	2.9
7	学校は、思いやり等を育むために努力している。	40.9	51.6	2.5	0.4	4.6
8	先生は、家庭との連絡等を積極的に行っている。	46.6	42.7	2.5	1.4	6.8
9	先生は、相談に親身になって応じている。	47.3	40.9	2.1	1.8	7.9
10	先生は、子どもの努力等を認め励ましている。	49.8	41.3	3.2	1.4	4.3
11	子どもは、家で自分からあいさつをする。	34.5	47.7	15.7	1.8	0.4
12	子どもは、家で毎日勉強(宿題を含む)をする。	43.4	39.1	13.5	3.6	0.4
13	家では、朝ごはんを食べさせている。	92.5	6.4	0.7	0.4	0
14	家では、子どもに早寝をさせている。	42.0	36.3	16.0	5.7	0
15	家では、子どもに早起きをさせている。	47.0	34.9	13.9	4.3	0
16	家では、子どもに手伝いをよくさせている。	27.4	46.6	21.7	3.9	0.4

1～10の学校に関する質問では、A+Bの割合が90%を超えたものが8項目(前期3項目)で概ね良好であるといえます。質問7「思いやり等を育む努力」質問8「家庭との連絡」質問9「子どもの努力等を認め励ます」の3項目は、前期と比較し3%以上増えました。前期の結果をふまえ、「学校・先生は子ども達の味方」であることや指導の意図を子ども達に伝えながら指導し、保護者の皆様へもその気持ちでご相談をお

受けしてきました。それが伝わっていることをとてもうれしく思いました。

一方、質問3の読書に関しては去年より今年、7月より12月と少しずつ改善していますが、依然として課題です。学校では、もうすぐ目標である全校での2万冊読書を達成できそうですが、家庭で読書するほど読書好きにはなっていないようです。図書委員を中心に新たな取組を考え、学年に応じたいろいろなジャンルの本に出合えるように努めてまいります。家庭読書の取組にご協力をお願いします。

家庭に関する質問では、質問14、15の早寝・早起きが7月に比べA+Bの割合が3%以上減り、児童アンケートによると就寝時刻が遅くなる1番の原因は「ゲーム」であり、とても心配な状況です。子ども

達が元気に過ごし、楽しく友達と交わり勉強できる土台となるのは、家庭での生活習慣です。学校ではこの状況を重く見、今月中に実態調査やノーメディアデーの取り組み、全校児童への集会での啓発を図ります。どうか、ご家庭でも「早寝・早起き」ができるようご協力をお願いします。

*保護者アンケートに寄せられた主な意見・要望等について

(子どもの様子に関して)

- ・2学期に入ってから「学校行きたくない。楽しくない」と毎日言っている。ちょっとしたいたずらや言葉でストレスがたまっているようだ。
⇒ 思いやりに欠ける言動について即座に注意していますが、まだ十分に改善できていない子もいます。道徳や学級活動を中心に思いやりの心を育みどの子も楽しく登校できるように努めます。
- ・授業が難しいと言っている。・・・算数でやり方が2種類もあると混ざるので1種類でしてほしい。
⇒ 理解が難しいお子さんには、授業中や放課後に個別指導をします。算数の指導は、子どもの定着を図るための手法がいくつかあります。一人一人のお子さんの様子に合わせて指導します。

(読書に関して)

- ・自分で絵本を読んで楽しさを感じられるようになってきたようです！生きる力を身につけるためにもとてもよい取り組みだと思います。・・・家では読み聞かせの機会が減ったので、学校での読書習慣の取り組みはとてもありがたいです。

(学校の対応に関して)

- ・授業参観や参観週間で子ども、先生、学校の様子もわかりますし、常時必要な事は連絡いただいているので、「通知表渡し・個別面談」を家庭訪問同様に希望制にしてほしいです。
⇒ 通知表渡しは保護者の方と直接お話しする大切な機会と捉えていますので、今の形を継続します。
- ・夏休みの宿題が多すぎるのが、かなり負担になっています。・・・夏休みの宿題の自由研究と読書感想文には親子ともに頭を悩ませ、かなり努力して作り上げている力作です。・・・その子なりのがんばりに対してもっとフィードバックが欲しい。
⇒ 長期休業でなければできないことをしてほしい、力を伸ばしてほしいという意図があります。ご理解をお願いします。子どもの頑張りを認め合えるような賞や発表の工夫をしていきます。
- ・冬期も水筒を持っていくと、喉の乾燥を防ぐことができ風邪の予防に繋がる。・・・給食の時の「あいなのだタイム」の在り方を見なおして欲しい。・・・楽しい給食時間を考えて欲しい。
⇒ 水筒は、個々の体調により考慮します。給食は生活習慣づくりの一環として大切な指導の場だと考えています。ただ、食の楽しさが感じられるよう方法を工夫します。

(校外生活に関して)

- ・8号線の側道を横断するとき信号のない（通学路ではないところ）を渡っている子が大勢いる。
- ・高学年になると行動力が出てきて悪い方に向かないか心配。・・・「シグナスや英田公園、住吉公園は校区外」・・・友達が行こうと言ったらどうしたらよい？など具体例を挙げて指導してほしい。・・・
⇒ すぐに職員で共通理解した上で児童に指導しました。校外生活につきましては、ご家庭・地域の皆様のご協力が不可欠です。これからも気付いた点をお知らせくださいますようお願いいたします。

(先生の対応に関して)

- ・夏休みあけより不登校になりかけだった子を支えて頂き、先生や井上小学校に感謝しています。・・・学校、学級でのことを今日こんなことがあったよなど話をしてくれます！・・・連絡帳等で様子が分かります。・・・大切な時期にしっかり指導していただき、とても良かったです。・・・いつも相談に応じてもらいとても助かっています。安心して学校に行けています。
⇒ 教師や学校の対応について感謝の言葉をたくさんいただきました。本当にうれしいです。
- ・「子どものことを・・・誤解されているのではないかと」思うことがあります。学校で乱暴な言動が続き、家でもよく話をしました。・・・連絡ノートに厳しいコメントが書かれていることがあり心

が傷つくことがあります。・・・子どもの言い分を聞かずに決めつける先生がいるそうです。

⇒ どの職員も子ども達への愛情をもって指導していますが、配慮が足りない面があったのかもしれない。受け手となる子どもや保護者の皆様の気持ちを考えて言葉かけをすることを、再度職員に周知しました。落ち着かない様子が見られる場合には、管理職が支援に入る等していきます。

(家庭での様子やしつけに関して)

・習い事をしている為、なかなか9：00に就寝できません。・・・注意しているが、ききません。

⇒ 生活習慣づくりは今後につながる大切な物です。早く眠れるようご配慮お願いします。

・「家の仕事にチャレンジ!」のプリントを連絡帳にはってから家の手伝いをよくするようになりました。・・・「先生が見てくれる」というのが励みになる様でとても良かったです。

(その他)

・5年生になったら1クラスになるようですが、人数が増え、先生の目が届くのか不安。・・・人間関係、学力低下、トラブルが起きた時の対応等、学校と保護者との連携が大事なのかなと思う。

⇒ 一人一人に目をかけていくよう努力するとともに、できるだけ支援体制を整えていきます。

* 学校評議員の方からいただいた意見・要望等

1月31日に学校評価結果等につきまして、学校評議員のみなさまに審議していただき以下のようなご意見をいただきました。

【学校評価】

○全体的に評価が高く、感心している。授業参観においても子ども達が積極的に挙手し生き生きと学んでいる。先生方の支援のお陰である。

→ 保護者の皆様のご協力・ご理解のお陰です。このように良い結果の学校はなかなかありません。

【学校生活】

○新5年は何人になるのか。先生は1名減か。

→ 来年度は1名の転入があり38人で1クラスになる。1年生も1クラスの予定なので、教員は2名減となる。できるだけ支援体制をつくっていく。

○ローマ字が苦手らしいがスピーチコンテストは素晴らしかった。塾などで習うのか。

→ 塾に行っている子もいるが、文作りなど学校での指導によるものである。

○特別支援が必要な児童への支援は。

→ 特別支援級児童だけでなく各クラスの困り感のある児童について、担任や交流授業担当者及び支援員による支援の中で学んでいる。周囲の子からの支えもある。

【家庭生活】

○早寝・早起きは家庭教育が大切。PTAへの啓発を。子ども同士で競争して早寝に取り組むような指導もすると良い。

→ 睡眠調査などを取り入れ、改善を図る予定である。

○あいさつは家庭・地域の問題としてとらえ、見守りたい。

* 来年度に向けて

学校自己評価、児童アンケート、保護者アンケートを基にした学校評価は、大変良好であり、アンケート結果の高い評価は本当に素晴らしいと学校評議員の方々からお褒めの言葉もいただきました。

来年度は、学校評価で明らかになった問題点、特に、「読書」「早寝」等について指導改善をしていきます。また、学力調査でやや弱かった「書く力」等を伸ばすことや、教員の指導力向上についても引き続き取り組んでいきます。子ども達のより良い成長を願い、どの子も「学校へ行くのが楽しい」と言ってくれる学校を目指し教職員一丸となって取り組みます。保護者、地域の皆様には、今後も学校へのご理解、ご協力をお願いいたします。